

令和 4 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 公明党

氏名 中村 益則

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1	11 / 15	29,260	「地方議員研究会セミナー」旅費 (東京都千代田区) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
1-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 29,260円
2	12 / 26	29,260	「地方議員研究会セミナー」旅費 (東京都千代田区) (日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
2-1	0 / 0	0	JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 29,260円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		58,520	備考
合計		58,520	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年10月21日

会派名 公明党  
代表者名 夏坂 修 様

氏 名 夏坂 修



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 夏坂 修 議員
- 2 期 間 令和4年11月15日（火）
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 地方議員研究会セミナー
- 5 支出可能額（上限額） 41,360 円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎							
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考			
行	11/15	八戸駅発 6:42	早見表							
き	11/15	東京駅着 9:23								
帰	11/15	東京駅発 17:20								
	り	11/15						八戸駅着 20:12		
経路・滞在地  6:42 八戸駅発(JRはやぶさ4) 9:23 東京駅着  10:00~12:30 地方議員研究会セミナー 「基礎から分かる認知症基礎問題」 14:00~16:30 「基礎から分かる学校統廃合問題」 会場:リファレンス新有楽町ビル (東京都千代田区有楽町一丁目 12-1 新有楽町ビル2階)  17:20 東京都駅発(JRはやぶさ39) 20:12 八戸駅着			鉄道運賃	631.9k	9,790	17,620	八戸⇄東京 (往復割引)			
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
				急						
			特別車両料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
			航空運賃							
			バス運賃							
			宿泊料							
			小 計						41,360	
			合 計 (小計×人数)						41,360	1名

令和4年12月6日

会派名 公明党  
代表者名 夏坂 修 様

氏 名 夏坂 修



### 調査視察等報告書

令和4年10月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1 旅行者 | 夏坂 修 議員        |
| 2 期 間 | 令和4年11月15日（火）  |
| 3 場 所 | 東京都千代田区        |
| 4 行 程 | 八戸～JR～東京～JR～八戸 |
| 5 支出額 | 29,260 円       |
| 6 概 要 | 別紙のとおり         |

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

2022年11月 7日

夏坂 修 様

金29,260円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
八戸801 No.000027



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

活 動 記 録 簿

会派・議員名 公明党 夏坂 修

項 目	研修費			
年 月 日	令和4年11月15日（火）			
場 所	リファレンス新有楽町ビル （東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2階）			
相 手 方	主催：地方議員研究会 （大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室）			
参加者氏名	夏坂 修			
目的・内容・ 結果等	講師：宮本 正一 同志社大学生命医科学部研究員 内容 「基礎から分かる認知症問題」 「基礎から分かる学校統廃合問題」の二つのテーマについて 研修を受けた。（詳細は別紙のとおり）			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費	30,000 円	
			円	
			円	
備 考				

## 研修の概要

報告者 夏坂 修

1. 主催 地方議員研究会
2. 場所 リファレンス新有楽町ビル
3. テーマ ①「基礎から分かる認知症基礎問題」  
②「基礎から分かる学校統廃合問題」
4. 講師 宮本 正一 同志社大学生命医科学部研究員
5. 研修の主な内容について

①国内の認知症患者人口は2012年に462万人だったものが、2025年には700万人になる。

介護費用と保険料は右肩上がり増加しており、今後75歳以上の高齢者数の急速な増加により、保険料の増加や介護人材の確保などの課題への対応が求められている。

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の対象期間は2025年までであり、7つの柱の目標や施策を具体的に実効性ある形で展開していくことが重要である。

認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進においては、小中学校での認知症サポーター養成講座の開催が重要であり、また認知症の容態に応じた適時、適切な医療・介護等の提供については、認知症初期集中支援チームの設置が効果をあげている。

認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進においては、高齢歩行者や運動能力の評価に応じた高齢運転者の交通安全の確保、また成年後見制度（特に市民後見人）や法テラスの活用促進が重要である。

②今後、少子化の更なる進展により、学校の小規模化に伴う教育的デメリットの顕在化が懸念されている。一方、統合が困難な地理的特性や地域コミュニティの核としての学校の重要性への配慮が必要で、いわば各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりを推進する必要がある。

寝屋川市の学校統廃合の検討の際は、校区問題審議会へ諮問し、慎重かつ丁寧に議論を重ねた。

廃校の活用については、直営、無償賃貸、有償賃貸、売却、PFI方式など様々な官民連携の事例がある。


### 6. 研修を受けての所感について

認知症問題については、八戸市においても増加する認知症患者への重層的な支援が必要であり、認知症サポーターの増員、認知症初期集中支援チームの人員を含めた拡充、また介護人材の確保などが喫緊の課題であり、今後も総合的な認知症対策に努めてまいりたい。学校統廃合については、少子化が進む中ではやむをえない部分がある中で、地域の実情（地域性、生徒の通学環境、保護者の意見等）を考慮し、審議会等の場で慎重かつ丁寧に議論、検討をしていく必要があると感じた。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和4年11月21日

会派名 公明党  
代表者名 夏坂 修 様

氏名 夏坂 修 

### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 夏坂 修 議員
- 2 期 間 令和4年12月26日（月）
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 地方議員研究会セミナー
- 5 支出可能額（上限額） 41,360円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】




第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	12/26	八戸駅発 6:42	早見表					
き	12/26	東京駅着 9:23						
帰	12/26	東京駅発 17:20						
り	12/26	八戸駅着 20:12						
経路・滞在地  6:42 八戸駅発(JRはやぶさ4) 9:23 東京駅着  10:00~12:30 地方議員研究会セミナー 「財政比較特別研修 歳入の財政比較」 14:00~16:30 「歳出の財政比較」 会場:リファレンス新有楽町ビル (東京都千代田区有楽町一丁目 12-1 新有楽町ビル2階)  17:20 東京都駅発(JRはやぶさ39) 20:12 八戸駅着			鉄道運賃	631.9k	9,790	17,620	八戸⇄東京 (往復割引)	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				急				
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料					
			小 計					
合 計 (小計×人数)						41,360	1名	

令和5年1月20日

会派名 公明党  
代表者名 夏坂 修 様

氏名 夏坂 修 

### 調査視察等報告書

令和4年11月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1 旅行者 | 夏坂 修 議員        |
| 2 期間  | 令和4年12月26日(月)  |
| 3 場所  | 東京都千代田区        |
| 4 行程  | 八戸～JR～東京～JR～八戸 |
| 5 支出額 | 29,260円        |
| 6 概要  | 別紙のとおり         |

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	会場費 旅費	整理番号	2-1
領収書等貼付欄					

領 収 証

2022年12月20日

夏坂 修 様

金29,260円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済
----------------------------

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
八戸802 No.000045



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

活 動 記 録 簿

会派・議員名 公明党 夏坂 修

項 目	研修費			
年 月 日	令和4年12月26日（月）			
場 所	リファレンス新有楽町ビル （東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2階）			
相 手 方	主催：地方議員研究会 （大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室）			
参加者氏名	夏坂 修			
目的・内容・ 結果等	講師：川本 達志 元廿日市市副市長 内容 「財政比較特別研修」として 全国の自治体の歳入、歳出の財政比較について研修を受けた。 （詳細は別紙のとおり）			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費	30,000円	
			円	
			円	
備 考				

## 研修の概要

報告者 夏坂 修

1. 主催 地方議員研究会
2. 場所 リファレンス新有楽町ビル
3. テーマ ①財政比較特別研修 歳入の財政比較  
②財政比較特別研修 歳出の財政比較
4. 講師 川本 達志 元廿日市市副市長  
地方議員研究会 統括コンサルタント

### 5. 研修の主な内容について

①中核市に期待される役割は、自立した都市経営（権限移譲・財源保障と人材確保）であり、人口減少の下で地域の中心的な都市として、地域の中核として連携して周辺自治体を補完することである。

中核市の一般財源の主なものは、住民税や固定資産税などの地方税、地方交付税、地方消費税交付金である。

令和2年度の市民税（個人分）ランキング（人口1人当たり税収入）では、八戸市は62市中5.7位であり、市民税（法人分）では3.6位である。また固定資産税ランキングでは1.9位となっている。

②令和2年度の人件費ランキング（人口千人当たりの支出額）では、八戸市は62市中61位で、中核市の中では人件費が低く抑えられている。扶助費ランキングでは62市中2.7位、公債費ランキングでは2.4位、物件費ランキングでは2.8位となっている。

### 6. 研修を受けての所感について

中核市をはじめ全国の自治体は、人口減少、更にはコロナ禍という状況の中で税収の確保に困難を極め、厳しい財政状況の中で市政運営している。八戸市においても市税収入が伸び悩む中、扶助費などの義務的経費が増加している中で市民サービスを維持、また充実させるために不断の行財政改革をはじめ税収確保に努めているところである。今後は議会のチェック機能の強化の一環として、予算書の詳細を事業別にチェックできる事業シートの作成も検討する必要があると考える。